

教育研究業績

芸術学部芸術学科芸術教養領域

氏名	早川 知江	職名	准教授
教育活動	[学部] 英語1、英語2、英語3、大学生になる、人類生存のための教養、アート・プロジェクト2、 外国語活動		
学位	「博士(国際文化)」(2006年 東北大学)		
学歴	平成12年3月 南山大学 文学部 英語学英文学科 卒業(学士(文学)取得) 平成12年4月 東北大学 国際文化研究科 博士課程前期2年の課程 入学 平成14年3月 同 修了(修士(国際文化)取得) 平成14年4月 東北大学 国際文化研究科 博士課程後期3年の課程 進学 平成17年2月 東北大学との協定大学間交換留学制度によりシドニー大学(University of Sydney)留学 (平成17年11月まで) 平成18年3月 東北大学 国際文化研究科 博士課程後期3年の課程 修了(博士(国際文化)取得)		
職歴	平成18年4月 名古屋芸術大学美術学部、名城大学理工学部、中京大学生命システム工学部 非常勤講師(平成19年3月まで) 平成19年4月 名古屋芸術大学美術学部教養部会 常勤講師(平成25年3月まで) 平成25年4月 名古屋芸術大学美術学部教養部会 准教授(平成29年3月まで) 平成29年4月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科 芸術教養領域 准教授(現在に至る)		
専門分野	言語学(選択体系機能理論)、テキスト分析、画像(絵本)分析		
研究課題	「絵本を活用した英語教材開発のための基礎研究」 小学校で2020年度から科目化される「外国語」向けの、絵本を活用した英語教材開発を目指し、言語理解に効果的な挿絵はどのようなものか提案する。また、教材として利用する絵本の選択基準と指針を提供する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語教育におけるジャンルと過程型」『Proceedings of JASFL』 Vol. 2: P67-82 (単著) 日本機能言語学会(平成20年10月) ・「専門的英語教育とジャンル理論(前半)」(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第30巻 p359-375.(平成21年3月) ・「有意味学習を考える—個性尊重の「総合的教育」へのアプローチから—」(共著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第30巻 p81-96.(平成21年3月) ・「Genre-Based Approach to Teaching Tense in English Classes: Tense in Art Book Commentaries.」(単著)『機能言語学研究』第5巻P47-68 日本機能言語学会(平成21年6月) ・「ジャンルと英語教育:美術書にみる文法資源選択の偏り」(単著) 『Proceedings of JASFL』 Vol. 3: P25-37 日本機能言語学会(平成21年10月) 『英語学論説資料』第44号(論説資料保存会)に転載収録 ・「専門的英語教育とジャンル理論(後半)」(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第31巻 p365-379.(平成22年3月) ・「節境界に関わる問題:動詞の文法化」『Proceedings of JASFL』 Vol. 4: P79-92 日本機能言語学会(平成22年10月) ・「機能文法における節境界の問題と認定基準の提案」(共著) 『機能言語学研究』第6巻P17-58 日本機能言語学会(平成23年4月) ・「日本語のCIRCUMSTANCE Systemについて」『Proceedings of JASFL』 Vol. 5: P11-23 日本機能言語学会(平成23年10月) ・「日本語のモダリティ:「主観的」表現と「客観的」表現」(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第33巻 p285-301.(平成24年3月) ・「Nominalization in the Japanese and English Languages Vol. 1」 『名古屋芸術大学研究紀要』第34巻 p249-267(平成25年3月) 『英語学論説資料』第47号(論説資料保存会)に転載収録 		

- Classifying Natural Phenomena through Language: Lexicogrammatical Resources for Constructing Taxonomies in Japanese Biology Textbooks. In Elizabeth A. Thomson and William S. Armour (eds.) Systemic Functional Perspectives of Japanese: Descriptions and Applications. Sheffield: Equinox.(平成25年5月)
- 「日本語のコト、ノの扱い: 名詞群のHeadか助動詞化か」『機能言語学研究』第7巻P1-21 (単著) 日本機能言語学会(平成25年5月)
- 「日本語の心理過程: 「見る」と「見える」」『Proceedings of JASFL』 Vol. 7: P71-84 (単著) 日本機能言語学会(平成25年10月)
- Nominalization in the Japanese and English Languages Vol. 2(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第35巻 p277-295.(平成26年3月)
- 「「外国語活動」と他教科の教材共有の可能性——国語教材の英語原書を用いた活動——」(単著) 『名古屋芸術大学教職センター紀要』第1号 p101-120.(平成26年3月)
- 「絵本の文と絵: bimodal textにおける意味の相補性」『Proceedings of JASFL』 Vol. 8: P1-14 (単著) 日本機能言語学会(平成26年10月)
- 「小学校「外国語活動」での絵本活用の留意点: Hi, friends! を例に」(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第36巻 p171-190.(平成27年3月)
- 「小学校「外国語活動」での絵本利用——Krashenのナチュラル・アプローチからの検討——」(単著) 『名古屋芸術大学教職センター紀要』第2号 p67-85.(平成27年3月)
- 「絵本の文と絵の関係性システム」『機能言語学研究』第8巻P115-140 (単著) 日本機能言語学会(平成27年6月)
- 「絵本の文と絵の関係性システム」『機能言語学研究』第8巻P115-140 (単著) 日本機能言語学会(平成27年6月)
- 「絵本の絵と文: 表現の得手不得手と協力関係」『Proceedings of JASFL』 Vol. 9: P1-14 (単著) 日本機能言語学会(平成27年10月)
- 「「外国語活動」における絵本の利用と語彙文法」(単著) 『名古屋芸術大学教職センター紀要』第3号 p7-23.(平成28年1月)
- 「絵で表せる意味、文で表せる意味——絵本の絵を言語化する」(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第37巻 p263-278.(平成28年3月)
- 「絵で表せる意味、文で表せる意味: 絵本の文を絵にする」(単著) 『Proceedings of JASFL』 Vol. 10: P1-13 日本機能言語学会(平成28年10月)
- 「「外国語活動」と絵本: 言語理解における絵の役割」(単著) 『名古屋芸術大学教職センター紀要』第5号 p43-54.(平成29年3月)
- 「英語授業での絵本の利用—語彙文法理解への絵の役割—」(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第38巻 p233-248.(平成29年3月)
- 「絵本の文と絵の補完関係」『機能言語学研究』第9巻P73-95 (単著) 日本機能言語学会(平成29年7月)
- 「絵本の中の「いたずら」: SFLの枠組みで効果を語る」(単著) 『Proceedings of JASFL』 Vol. 11: P17-27 日本機能言語学会(平成29年10月)
- 「小学校「外国語活動」と「外国語」: 共通教材としての絵本」(単著) 『名古屋芸術大学教職センター紀要』第7号 p39-52.(平成30年3月)
- 「絵本の絵を分析する——マルチモーダル・リテラシー教材開発のための枠組み紹介と検証」(単著) 『名古屋芸術大学研究紀要』第39巻 p229-245.(平成30年3月)

[学会・研究会発表]

- 日本機能言語学会(JASFL)第16回秋期大会(お茶の水女子大学) 「ジャンルと英語教育: 美術書にみる文法資源選択の偏り」(平成20年10月11日)
- 日本機能言語学会(JASFL)第17回秋期大会(同志社大学(京田辺キャンパス)) 「節境界に関わる問題: 動詞の文法化」(平成21年10月11日)
- 日本機能言語学会(JASFL)第18回秋期大会(新潟大学(五十嵐キャンパス)) 「日本語のCIRCUMSTANCE Systemについて」(平成22年10月9日)
- 日本機能言語学会(JASFL)第19回秋期大会(上智大学(四谷キャンパス)) 「日本語のモダリティ: 階層下降か文法的比喩か」(平成23年10月8日)
- 日本機能言語学会(JASFL)第20回秋期大会(愛知学院大学(日進キャンパス)) 「日本語の心理過程: 『見る』と『見える』」(平成24年10月7日)
- 日本機能言語学会(JASFL)第21回秋期大会(神奈川大学(横浜キャンパス)) 「絵本の文と絵: bimodal textにおける意味の相補性」(平成25年10月12日)
- 日本機能言語学会(JASFL)第22回秋期大会(龍谷大学(大阪梅田キャンパス)) 「絵本の絵と文: 表現の得手不得手と協力関係」(平成26年10月11日)

	<ul style="list-style-type: none"> ・日本機能言語学会(JASFL)第23回秋期大会(玉川大学) 「絵で表せる意味、文で表せる意味:絵本の文を絵にする」(平成27年10月10日) ・日本機能言語学会(JASFL)第24回秋期大会(立命館大学 びわこ・くさつキャンパス) 「絵本の中の「いたずら」:SFTの枠組みで効果を語る」(平成28年10月8日) ・日本機能言語学会(JASFL)第25回秋期大会(同志社大学、今出川キャンパス) 「絵本の中の結束性:Painter, et al.のシステム拡充」(平成29年10月8日) ・名古屋芸術大学リベラルアーツ総合研究所「教養と芸術」第1回研究会 「リベラルアーツ——視覚をめぐる諸相」(せんだいメディアテーク)「絵本と音」(平成30年1月13日) <p>[講演会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市大学連携シリーズ講座「研究最前線！大学の知を学ぶ」(イーブルなごやにおいて) 「名古屋と絵本:絵本と名古屋弁」(平成29年7月)
所属学会 団体等	日本機能言語学会(JASFL)会員
社会的活動	特記事項なし
その他	特記事項なし